ＪＡＸＡの技術が、地球を守る、人体を守る

災害対応可搬型浄水装置

ＪＡＸＡ（宇宙航空研究開発機構）特任技術者 小口美津夫が開発した浄水システム

1984年、米国の国際宇宙ステーション計画の提唱を受けて、宇宙で水や空気をリサイクルする技術を研究し始める。

その結果、水再生装置、空気再生装置やゴミを水に変えるハイプロシステムの開発に成功 ――。

大地震・・・いざという時

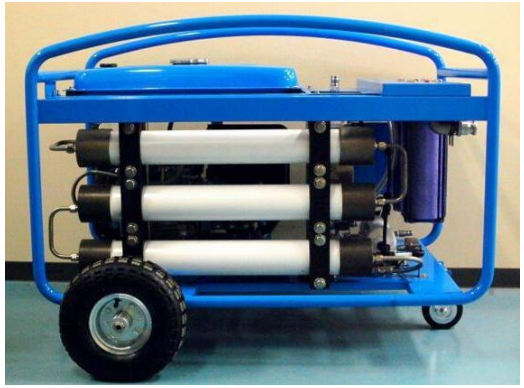
一番大切なのは飲み水

汚水を浄化して作ることができます

放射能汚染水にも効果あり・・・

販売代理店：
株式会社善衛商事
☎03-6809-5051

災害時用浄水装置 ガソリンタイプ



可搬型災害対応浄水装置の主な仕様

本体寸法	W970ｍｍ×D760ｍｍ×Ｈ７５７ｍｍ（タイヤ含む）
重量	７０ｋｇ（暫定値）
原水	河川、湖、沼、雨水、プール、貯水槽、海水、地下水
造水量	淡水 267L/H　2136人／日 海水 107L/H　856人／日
水質モニター	高輝度ＬＥＤサインバー表示機能付安全飲用水質モニター
水質センサー	温度補償機能付
浄水機能	ストレイナー プレフィルター（１０ミクロン）×２ メンブレム（逆浸透膜）×３ 抗菌機能付ミネラルカーボンフィルター
次亜塩素注入装置	可変調整式自動注入
ポンプ	横型３連スーパーフロー式ポンプ
最大圧力	7．0MPa
エンジン形式	空冷４サイクル傾斜形単気筒ＯＨＣ式ガソリンエンジン
使用燃料	自動車用無鉛ガソリン
燃料タンク	16．6L
連続稼働時間	約２０時間３０分
エンジン保護機能	エンジン焼付防止用オイルセンサー

ワステックが目指す災害時用浄水装置とは？

比較項目	ワステックが目指す製品	従来型システム
前処理	高機能ゼオライトによる不純物質の吸着及び回収	・スケール防止剤の投入が必要 ・イオン交換樹脂の使用
逆浸透膜	・0.0001マイクロメートルの細孔 ・回収率：６０%～７０% ・低圧ポンプ（１ＭＰａ以下）	・0.0004マイクロメートルの細孔 ・回収率：６０% ・高圧ポンプ
水質	・ほとんどの不純物質の除去が可能	・水道水質基準をクリア
災害環境時に使用する場合の最低条件	・小型軽量な可搬型 ・ワンタッチで操作が可能 ・持ち運びが容易 ・低消費電力 ・いろいろなエネルギー源に対応 （ガソリン、バッテリー、ガス、風力、太陽光）	・大型で持ち運びが困難 ・大電力が必要

浄水方式の比較

浄化法式 / 対象物質	ワステック システム	他社の 逆浸透膜	活性炭	中空糸膜	セラミック フィルター
塩素・カルキ臭	○	○	○	▲	▲
カビ臭	○	○	○	×	×
赤サビ	○	○	×	○	▲
放射性物質	○	▲	▲	×	×
細菌	○	○	×	○	▲
ウィルス	○	○	×	×	×
水銀	○	○	▲	×	×
固形鉛	○	○	×	○	×
溶解性鉛	○	○	×	×	○
ダイオキシン	○	○	×	×	×
ヒ素	○	▲	×	×	×
農薬（ＣＡＴ）	○	▲	×	×	×
総トリハロメタン	○	○	▲	×	○
トリクロロエチレン	○	○	▲	×	×
重金属類	○	▲	▲	×	×
硝酸性窒素	○	▲	▲	×	×